

せとうち DMONEWS

事業者の皆さまにせとうちDMOについて理解を深めていただけるよう
活動状況や観光関連情報を毎月お届けしていきます。

Japan's Inland Sea,
SETOUCHI

Vol.
82

“Japan's Inland Sea, SETOUCHI”
世界に評された瀬戸内



ABOUT US

「多島美」と呼ばれるキラキラと輝く海と大小700以上の島々、そしてそこに暮らす人々とともに息づき豊かな恵みをもたらす里山が織りなす景色、せとうち。わたしたちせとうちDMOはその恵まれた資源を「せとうちブランド」として確立し、地域経済活性化や豊かな地域社会の実現を目指し活動しています。その実現のため、せとうちエリアの自治体・観光関連事業者をはじめとする地域の皆さまと共に連携し、地域一丸となってせとうち広域での観光振興に取り組んでまいります。

せとうちDMO

発行日：2023年4月17日
発行：せとうちDMO
発行人：穂本・遠藤
住所：広島市中区基町10番3号

せとうちDMO

<https://setouchitourism.or.jp/ja/>

瀬戸内Finder

setouchifinder.com

SETOUCHI REFLECTION TRIP

<https://www.setouchi.travel/en/>

◆瀬戸内ブランドコーポレーション 代表取締役社長 就任挨拶

このたび、株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションの代表取締役社長に就任する事となりました

田部井智行でございます。

2021年7月以降、事業本部の統括担当として、「せとうち観光活性化ファンド」を通じたせとうちエリアの事業者の資金支援、自治体へのコンサルティング、補助金申請サポート等、観光関連事業者支援に携わってまいりました。2022年7月からは、取締役として経営にも関与し、前代表取締役の井坂とともに、組織作りを中心に取り組んでまいりました。

新型コロナも収束し、組織作り、体制作りにより一定の目途がついたことから、次の新たなステージへステップアップするために、井坂よりバトンタッチを受けることになりました。

私達は、せとうちDMOの一員として、「せとうちを世界一のデスティネーションにする」というミッションを掲げ、サステナブルな観光地づくりに取り組んでいます。壮大な夢は持ちつつも、私たちの組織はまだ未熟でございます。夢は大きく持ちながらも、経営は地道に、を日々心がけ、役員並びに従業員一同精進してまいりますので、今後とも一層のご愛顧ご鞭撻を賜ります様、心からお願い申し上げます。

新代表取締役の氏名および略歴

氏名 : 田部井 智行 (たべい ともゆき)

生年月日 : 1973年8月6日

1996年04月 株式会社住友銀行 入行

1998年08月 ローム株式会社

2011年02月 株式会社延田エンタープライズ

2016年11月 株式会社日本人材機構

2017年12月 株式会社三宅本店 社外取締役

2019年10月 株式会社ルリアン 代表取締役社長

2021年07月 株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション 事業統括担当

2021年10月 株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション 執行役員 事業本部長

2022年07月 株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション 取締役 事業本部長



せとうち7サミットを開催しました！

せとうち観光推進機構は3月24日(金)に広島市のホテルグランヴィア広島で「せとうち7(S7)サミット」を開催しました。

本サミットは5月19日(金)からの「G7広島サミット」に向けて、せとうちエリアへの誘客・周遊促進を狙いとして開催されました。当日は兵庫県、岡山県、広島県、山口県、香川県の5県の知事が出席し、徳島県副知事と愛媛県知事がオンラインで参加しました。

第1部 カンファレンス



講演するアレックス・カー氏



広島県 湯崎 英彦 知事



山口県 村岡 嗣政 知事



愛媛県 中村 時広 知事



香川県 池田 豊人 知事



徳島県 勝野 美江 副知事



兵庫県 齋藤 元彦 知事



岡山県 伊原木 隆太 知事

第1部のカンファレンスでは参加した約100名の国内外メディアや観光関係者を前に、東洋文化研究者のアレックス・カー氏による基調講演と、せとうち7県知事・副知事によるプレゼンテーションを行いました。

カー氏の講演では「瀬戸内海はアジア唯一の内海であり、その地理的環境で育まれた豊富な魅力がたくさんある」とご紹介いただきました。

知事・副知事によるプレゼンテーションでは各県の観光スポットや食の魅力等を出席者へ熱く語りました。

第2部 レセプション



(上) 懇談中の5県知事



(上) 比婆牛の鉄板焼き



(上) せとうちの地酒がズラリ



(右) 日本国際博覧会協会高科副事務総長による「大阪・関西万博」のPR

(左) 湯崎知事による乾杯のご発声

第2部のレセプションでは立食による交流会が開催され、会場ではせとうち7県の地酒が勢揃いし、また比婆牛の鉄板焼き等の広島県自慢の料理が振る舞われました。

出席した知事も各メディア・観光関係者の方々とコミュニケーションを図り、各県の魅力を強くアピールしました。

「在日外国人を対象とした訪日外国人観光誘客のためのプロモーション・モニターツアー事業」のご報告

去る3月5日から12日にかけて、海外マーケティンググループが担当している「在日外国人を対象とした訪日外国人観光誘客のためのプロモーション・モニターツアー事業」の一環で、モニターツアーを実施しました。

当該ツアーは「招請者を瀬戸内への旅行に誘うインフルエンサーと見立て、彼らが自身のSNS等で本国等に対して情報発信を行うことによる瀬戸内の認知度向上」を主たる目的として実施したのですが、同時に、地域での滞在、周遊の満足度向上のためにマーケットから強く求められている「ガイド」機能を強化すべく、各地域のガイド人材によるガイディングの現地研修機会としても活用しました。

実施にあたっては、機構の既存コンテンツを踏まえたコース内容とし、招請者は瀬戸内に生活拠点がある在日外国人および彼らのコミュニティを意識した選定を行い、在日外国人計20名にご参加いただきました。

一方、ガイド研修においては、機構サイトに記載のある過年度事業において接点のあったガイド人材をはじめ各所にお声掛けをして募集を行い、モニターツアー（現地研修）実施前には座学研修も行いました。座学研修は、欧米豪旅行者が求めるニーズ、せとうち観光圏の魅力などの基礎知識が向上できる内容としたほか、予め撮影した場面ごとに意識すべきガイディング動画も活用しました。

その結果、座学研修には、82名にご参加いただき、現地研修については、計画を大幅に上回るご希望をいただいたため人数を絞らせていただき、計21人で実施しました。

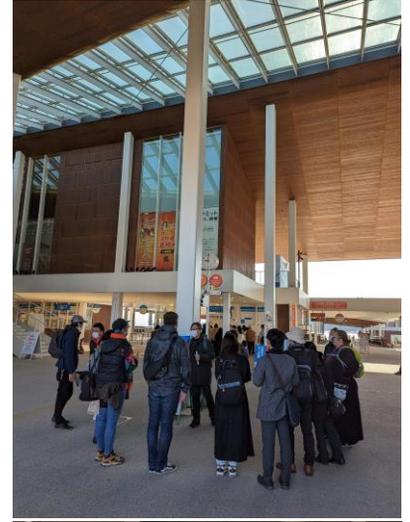
現地研修は、招請者に対しては発信の質的向上に向けSNS発信に精通した講師が、ガイド研修生に対しては広域周遊ガイドの指導に長けた講師が付き添い、場面転換の際や、道中の車内、総括時間を活かしてフィードバックを行いつつ進めました。

招請者からは、「効果的なSNS発信につながる知識や、様々なシチュエーションでの写真の撮り方など、とても興味深いお話でした。」というような言葉をいただいた他、ガイド研修生に対しては「相手がどんな人なのか、その人が何を面白がっているのかを理解しようとする姿勢が必要。この点は、ツアーを重ねるごとに経験値が上がっていくと思います。」というように今後につながる前向きなご助言を賜りました。

また、ガイド研修生からは、「ゲスト・地元の方々・他の観光客も含め、すべての「人」と関わっていくのが「ガイド」であると痛感した。」というように感想や、「外国人が何を知りたいか？ここにフォーカスしたガイドが

Mustだと感じている。」というように、外国人の方々を直接ご案内してやり取りを重ねたからこそ見えてきたものがありました。

このように得られたご意見ご感想を、令和5年度の事業にも反映して参ります。



GSHIPと連携した清掃活動に参加しました！！

海洋プラスチックゴミによる環境汚染の問題解決に向けた「GSHIP（GREEN SEA 瀬戸内ひろしまプラットフォーム）」と連携した清掃活動が3月25日（土）に広島県廿日市市宮島にある包ヶ浦自然公園で開催され、せとうち観光推進機構からも3名が参加しました。

海岸に漂着したごみの多くは、牡蠣いかに使用される発砲スチロールの欠片やパイプで、こうしたごみは自然に分解されずに海を漂い、環境汚染を引き起こすだけでなく、「マイクロプラスチック」として魚が体内に取り込んでしまう問題が懸念されています。

当日は160名を超える参加者で清掃を行い、144kgのごみを集めることができました。

「来た時よりもより綺麗に」。美しいせとうちの自然を未来の世代へ引き継ぐためにも、当機構はリジェネラティブ観光（再生型観光）を推進して行きます。



(上) ごみを拾う坂元本部長

(左) ごみを拾う田代グループマネージャー

(下) 沢山のごみが集まりました!!

(下) 当日は多くの企業、個人の方々が参加しました。



(上) 参加した機構社員で記念撮影

(左) 参加者全員で記念撮影

参加登録者数1,500名超！「第12回せとうちミーティングfrom兵庫」開催！！

せとうちDMOは3月13日（月）、「第12回せとうちミーティングfrom兵庫」をオンラインで開催、兵庫県淡路市の淡路夢舞台国際会議場から配信を行いました。

「せとうちミーティング」は、観光関連の有識者の講演の他、開催県の事例紹介やJNTO海外事務所からの中継などが盛り込まれ、毎回多くの方が参加する、せとうちDMO主催のビジネスカンファレンスです。

多くのご要望をいただいたことから上限を引き上げ、結果**1,500名を超える参加登録、当日視聴者700名超、後日のアーカイブ視聴者も多数と好評**のうちに開催となりました。

兵庫県内はもちろん、せとうち7県外からの参加者も多く、東京や大阪、北海道から沖縄まで、さらに海外7ヶ国以上から視聴登録いただき、改めて開催地:淡路をはじめとする「せとうちへの玄関口」としての「兵庫」への関心の高さを感じる回となりました。

配信開始時はあいにくの曇り空だったものの、時間と共に天候も回復し、淡路島の海岸線や安藤忠雄建築を望む会場やパリからのライブ中継など、成功裏に終わることができました！



全体テーマ：兵庫は、「せとうち」への玄関口。 ～その「先」の観光へのたゆまぬ歩み～

オープニング：せとうち観光推進機構のインバウンド事業について
(一社)せとうち観光推進機構 専務理事/事業本部長 坂元 浩

◇第1部 基調講演：「せとうちの“ゲートウェイ”淡路島の可能性
～地域との共存共栄へ、ニューアワジグループの挑戦～」
淡路島観光協会 会長
ホテルニューアワジグループ 代表取締役社長 木下 学氏

◇第2部 特別講演：「兵庫県観光の現状と取り組み：地域事例の紹介」
兵庫観光の現状とひょうご観光本部の取り組み
(公社)ひょうご観光本部 事業推進部長 勝本 勲氏
まち全体が1つの旅館「共存共栄」を礎にした観光戦略
～外国人観光客誘客と豊岡観光DX（宿泊データ収集基盤整備など）～
(一社)豊岡観光イノベーションWEBマーケティングリーダー 一幡 堅司氏
姫路城世界遺産登録30周年に向けて
(公社)姫路観光コンベンションビューロー 観光部長 森口 真一郎氏
官民連携による新たな観光プロモーション・コンテンツ開発
(一財)神戸観光局 観光部長 渡辺 元樹氏

◇第3部 観光関連セミナー
フランス（ヨーロッパ）市場の現状について～訪日旅行復活への展望～
JNTO(日本政府観光局)パリ事務所 上席次長 小谷 陽氏
せとうちエリアでの観光地づくり
(株)瀬戸内ブランドコーポレーション 取締役事業本部長 田部井 智行
せとうちDMOメンバーズについて
(株)瀬戸内ブランドコーポレーション ソリューション部長 遠藤 成将



ライブ配信は兵庫県淡路市：兵庫県立淡路夢舞台国際会議場より行いました。
兵庫県立淡路夢舞台国際会議場は、世界的な建築家の安藤忠雄氏のランドデザインによる、ユニークな外観の建物です。瀬戸内海の一部である大阪湾を眼下に望む、淡路島東海岸の風光明媚な環境に立地しており、様々なMICEイベントに対応出来る会議場やホテルを備えています。

瀬戸内アカデミー報告

瀬戸内アカデミー：第75回 「地域創生・観光開発を3次元化する「空飛ぶクルマ」の可能性」

電動で垂直離発着する移動手段が各種社会課題を解決し、持続可能な未来を創る…
官民連携で推進される「空の移動革命」の主役である空飛ぶクルマは、遊覧飛行や離島・過疎地への旅客輸送など観光分野においても様々な可能性を秘めています。その世界市場規模は2030年に6兆円、2050年には123兆円に達すると予測され、日本においても2025年の大阪・関西万博をベンチマークに取り組みを進めているところです。

そのような中、この度の瀬戸内アカデミーでは、プロデューサーとして世界各地の観光マーケティング事業を手掛け、2022年4月に発足した「HYOGO空飛ぶクルマ研究室」の代表を務める江藤誠晃氏より、空飛ぶクルマの市場動向や、HYOGO空飛ぶクルマ研究室の取組み事例、兵庫県で展開する空域観光プロジェクト等について、分かりやすい資料と動画を交えて、ご講演いただきました。

参加者からは、「盛りだくさんの内容を動画も交えて非常に分かり易く説明頂いた」「一般的には拾い上げきれない情報もただけて勉強になりました！」「昔映画などで見ていた近未来の話が実現されようとしていることに感動しました」など多数のご好評の声をいただきました！



- ◆日時：2023年3月9日（木）14時～15時
- ◆講師：【HAAM】HYOGO空飛ぶクルマ研究室
チーフ 江藤 誠晃 氏
<https://hyogoam.jp/>

瀬戸内アカデミー：第76回

観光客を8倍に増加した方法とは 自然活用の成功事例を公開「地方創生」セミナー

「自然を活用して観光誘客したいが、どうしていいかわからない」
「山に行く観光客はいるが、麓の街に来てくれない」

そんな悩みを抱える自治体、地域の方々を対象にダウンロード数350万を超える登山用GPS地図アプリYAMAP（ヤママップ）運営のヤママップ社様に観光誘客の最新成功事例をご紹介します。

人口1万人の町に前年比8倍の観光客が押し寄せた事例、登山と麓の街の観光を有機的に結びつけた「地元の経済が活性化」事例の2つの成功事例をお話しいただき、今すぐ応用できる「今ある自然を活かして観光を活性化」ヒントとなる考えを学ぶことができました。

- ◆日時：2023年3月16日（木）14:00～15:00
- ◆講師：(株)ヤママップ マーケティング戦略本部
アウトドア事業開発部長 大土洋史氏
<https://yamap.com/>



瀬戸内アカデミー：第77回 ゼミ広島合宿から学んだこと

ビジネスモデルが大きくパラダイムシフトする旅行会社。戦前や前後に「価値を創造」し発展し社会貢献したことを振り返り、再び“存在価値のある”産業にする。そのような人材を育成したい！と働きながら大学院に通い、日本旅行に31年間の勤務後、日本大学の教員となられた矢嶋先生に、観光を“研究素材”にするのではなく、“認知度を向上し1人でも多く集客”を目標にされている矢嶋ゼミの活動や昨年9月、広島を訪問されDMOの役割から観光案内所の運営などを学ばれた学生の方々の報告、また、観光系大学の現状や「産官学連携」のポイントについてお話をいただきました。

参加者の方から「観光系大学の現状や「産官学連携」のポイントがよく理解できて、大変有意義なセミナーでした。街が活性化するのは、若い世代の力が必要であり、そこで指導する教員との連携も重要であると認識しました。SNSが普及する現代、「人との繋がりが」や「地域での体験」が今後の観光に求められるものだと思いますので、学生コンシェルジュの活用や誘客方法について勉強していきたいと感じました。」とのコメントを頂きました。

- ◆日時：2023年3月23日（木）14時～15時
- ◆講師：日本大学国際関係学部 准教授 矢嶋 敏朗 氏
- ◆矢嶋ゼミHP：<https://sites.google.com/view/yajimaseminar/>



新たなメンバーを紹介します！

春風のぬくもりを感じながら、今年も満開の桜がせとうちを彩りました。

4月は新たな出会いと出発の月でもあります。

この春、4月からせとうちDMOに9人（せとうち観光推進機構6人+瀬戸内ブランドコーポレーション3人）の新たなメンバーが加わりました。

新メンバーを含めせとうちDMO全員でこれからのせとうち地域を観光で盛り上げていきますので、皆様のご声援をよろしくお願い致します！



【上】 錦帯橋（山口県岩国市）

せとうち観光推進機構 経営企画グループ

西田 恵

広島県から出向の西田です。前職、広島県観光連盟でワクワク創出の下支えをしていました。これから皆さんと一緒に、せとうち7県のオモシロイことの発信できたらと！

岩下 潤子

メイツ中国から派遣の岩下です。皆さまと一緒にせとうちを盛り上げるサポートを全力でさせていただきます。よろしくお願い致します。

せとうち観光推進機構 誘客グループ

藤井 鉄也

日本航空（株）から出向の藤井です。「せとうち」エリアの魅力をしっかりと発信できるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。

京極 凌

愛媛県庁から出向してきた京極です。せとうちの魅力をしっかりと発信できるよう業務に励んでいきます。

せとうち観光推進機構 地域の魅力づくりグループ

小若 倫子

岡山県庁から出向の小若です。この機会にせとうちをたくさん巡って、魅力発見に努めたいです。よろしくお願い致します！

大島 涼太郎

兵庫県から出向で来ました大島です。観光の仕事に携わることは初めてですが、せとうちの素晴らしさを魅力的に発信し、多くの方にせとうち7県を知っていただき、足を運んでいただけるよう頑張ります！

瀬戸内ブランドコーポレーション

エリアプロデュース事業部の副部長に就任しました吉原です。広告会社での営業・プランニング、コンサルティング会社での海外進出支援の経験や知見を活かし、新しいことに挑戦し続け、せとうちを盛り上げていきたいと思ひます。

吉原亜矢子

広島銀行から出向の佐藤耕平です。銀行では法人担当しており、銀行での仕事とは全く違う仕事になりますが、一日でも早く慣れて瀬戸内に貢献できるように明るく楽しく前向きに頑張っていきます！よろしくお願い致します！！

佐藤耕平

宿泊事業開発部 堀尾 祐子(さちこ)です。20年間住んだネパールより6年前に広島に帰って参りました。海外生活や日本の田園地帯における多様な価値観に触れた経験を活かし、せとうち地域とここに集う人々をつなぐ役割を果たしたいと思ひます。

堀尾 祐子